

# ひとよし市議会だより

2013 第76号 平成25年5月15日

発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページでもご覧になれます。

http://www.city.hitoyoshi.lg.jp  
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp

## 【主な内容】

- P 3～5 …………… 各常任委員会報告、行政視察報告
- P 6 …………… 特別委員会報告
- P 7～10 …………… 一般質問
- P 10～11 …………… 議案等の議決結果、請願・陳情の議決結果
- P 12 …………… 議会報告会の結果

五月晴れの中悠々と泳ぐ鯉のぼり（人吉クラフトパーク石野公園にて）

平成 25 年 3 月定例会が 2 月 26 日から 3 月 25 日までの 28 日間の日程で開催されました。

## 平成25年度一般会計予算

# 141億3,519万4千円 可決 (前年度比4,172万8千円の増)

各特別会計も次のとおり可決しました。

人吉球磨地域交通体系整備特別会計	172 万 3 千円
国民健康保険事業特別会計	46 億 6,320 万 2 千円
後期高齢者医療特別会計	4 億 8,320 万 9 千円
介護保険特別会計	41 億 2,928 万 6 千円
介護サービス事業特別会計	2,731 万 4 千円
公共下水道事業特別会計	10 億 3,275 万 9 千円
国民宿舎特別会計	20 万 5 千円
工業用地造成事業特別会計	218 万 6 千円
水道事業特別会計 収益的収入	5 億 4,147 万 7 千円
支出	4 億 8,744 万 1 千円
資本的収入	4,580 万 2 千円
支出	2 億 5,876 万円

平成 24 年度一般会計補正予算は 6 億 94 万 5 千円増の総額 155 億 9,109 万 3 千円となりました。この補正は、国の緊急経済対策によるものです。

平成 25 年 4 月 23 日に臨時会が開かれました。

平成 25 年度一般会計補正予算 (第 2 号)

## 2億 8,193 万円増額 を可決

国の平成24年度第1次補正予算に伴う地域の元気臨時交付金事業による補正  
 (主なもの) 鉄道ミュージアム建設工事設計業務委託  
 老人福祉センター改修事業  
 市営住宅合併処理浄化槽改修事業 (西瀬団地)  
 カルチャーパレス改修事業

## 総務文教委員会報告

●委員長 川野 精一 ●副委員長 豊永 貞夫  
●委員 宮崎 保・平田 清吉・仲村 勝治・永山 芳宏

### 平成24年度最終補正 教育費に4億4,784万5千円

平成 25 年 2 月 26 日に成立した、国の平成 24 年度第 1 次補正予算、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」予算で、人吉西・東間・中原の 3 小学校のプール改修事業と、東間・西瀬・大畑の 3 小学校の給水設備改修事業を行う予算を承認しました。なお、この予算は 24 年度内の事業完了が見込めませんので、25 年度に繰り越すことを承認しております。

### 平成25年度当初予算は総じて減なるも、 教育と防災経費を増配分

本委員会の審査範囲においても、25 年度当初予算は税の減収が響き、前年度と比べ減額予算が多い中、総務費では、郷土の偉人一井正典氏が留学されたアメリカ・ロスガトスなどへの学生留学旅費を増額、市の将来を担う青少年へ新しいプログラムが準備されます。また、教育総務費では、本市出身の高濱正伸氏が代表を務められ、各種メディアでも話題の新学習法「花まる学習会」の教材を取り入れた「人吉市花まる教室」を実施する経費など、前年度比で 1,590 万 5 千円の増額を承認しました。小学 2 年生を対象に放課後を利用して実施され、子ども達の学習意欲の向上が期待されます。その他、学校給食センターの改修工事費等に 1,287 万 5 千円の増額を承認してお

ります。また、消防施設費では、前年度に比べ 3 億 517 万 8 千円の大幅増額を承認しました。これは、24 年度から整備を進めている「防災行政無線」の第 2 期整備事業として、同報系戸別受信機や移動系無線などの工事費が主なものです。

### 「第一市民運動広場の整備及び 設備の改修を求める陳情」について

継続審査を行ってきました本陳情案件は、審査の結果、陳情内容が現状と異なる部分があるなどから、委員会で不採択。また、本会議では賛成少数で不採択となりました。



開局した防災行政無線局（市役所本館）

## 総務文教委員会行政視察報告

日程：平成24年10月15日(月)～17日(水)

研修先及び目的

**神奈川県大和市**：魅力ある学校図書館づくりについて  
**静岡県牧之原市**：原発事故が発生した場合の対応について、市民に親しまれる議会だより作成取り組みについて

**研修内容**：大和市では、文部科学大臣賞を受賞した、読書力の向上で生きる力を醸成することを目的とする「こども読書力向上プラン」を中心に、学校図書館教育の取り組みについて研修を行い、実践校の一つである林間小学校を視察しました。笑顔が見える温かみある空間づくりを推進されており、今後の図書館教育の充実に大いに参考になる内容でした。

次いで訪問した、旧藩主の相良氏の出身地である牧之原市は、旧相良町時代（昭和 34 年）に人吉市と友好都市の交流が始まり、現在に至る馴染み深い間柄ですが、東日本大震災以降は、人吉市を含め 8 市町村と災害時相互応援協定を締結されてお

ます。

また、牧之原市の 20 キロ圏内には中部電力浜岡原子力発電所が立地しており、平成 23 年 9 月 26 日には市議会が浜岡原発の永久停止を決議しています。今回はその経緯も踏まえ、西原茂樹市長直々に「原発事故が発生した場合の対応について」説明を行っていただきました。発生が予想される東南海地震やそれによる津波、そして不慮の原発事故など、市民や自治体、誘致企業にいたるまで、リスクの問題や不安など、今回の行政視察で深く考えさせられました。災害協定を結ぶ人吉市は牧之原市の現状に学び、しっかりと心構え（準備）が必要であると感じております。

また、「市民に親しまれる議会だより作成取り組みについて」は、議会広報特別委員会の中山委員長から説明があり、市民に好評を得ている実践例を研修しました。

# 厚生委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 松岡 隼人  
●委員 高瀬 堅一・村口 隆・田中 哲・三倉 美千子

## 環境基本条例を制定

市における良好な環境の保全、回復及び創造に関する環境政策の理念及び施策の基本となる事項を定め、自然環境と人間生活が共に輝く美しき千年都市ひとよしの実現を図るため環境基本条例が制定されました。

環境審議会の答申を踏まえ、人吉市らしさ、人吉市としての環境のあるべき姿を文言として入れ、総合計画におけるまちづくりの目標の文言を用いて人吉市らしい環境基本条例となっております。

平成25年度には、環境基本計画の策定が予定されています。

## 消毒・撒布手数料条例を廃止

家屋等における消毒は、規則で指定してある薬剤等の製造中止が多く、平成2年からの実績がないため、条例を廃止しました。災害時の場合の消毒は、災害対策本部からの要請で衛生班として対応しております。

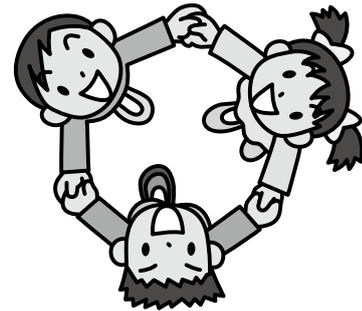
## 一般会計当初予算民生費に57億229万1千円 衛生費に16億9,313万9千円計上

平成25年度一般会計当初予算の歳出に占める割合は、民生費40.3%、衛生費12%で、全体の約52%を占めています。

主なものは、障がい者の自立支援給付費及び地域生活支援事業に要する経費6億5,627万5千円、本年3月に認可されたひまわり保育園を加えた13か所の認可保育所運営費12億5,159万4千円、生活保護扶助費6億7,171万5千円、人吉球磨広域行政組合負担金（し尿ごみ処理施設及び葬斎場）11億2,009万4千円等です。

## 敬老会助成事業交付金に260万円計上

これまで敬老会の助成として出席者一人あたり600円を弁当代として助成していましたが、取りまとめやそれぞれの町内で公平さが図られていないということから、住基データを利用して敬老会に助成していくこととなります。260万円の限度額で、試算では一人あたり400円程度になるが、使い勝手が良くなるのではとの説明がっております。



## 厚生委員会行政視察報告

1. 日程：平成24年11月12日（月）～14日（水）

2. 研修先及び目的・内容

(1) 滋賀県近江八幡市

福祉トータルサポートセンターについて

様々な市民のニーズに総合的かつ継続的に応える福祉によるまちづくりを推進するための拠点として、4つの機能を持っています。

①総合相談窓口の機能 ②子どもの育ちを地域で支える拠点機能 ③高齢者・障がい者の雇用の場の創出推進機能 ④市民共生の拠点機能

(2) 三重県桑名市

介護支援ボランティア制度について

65歳以上の方が社会参加活動を通じて、自身の介護予防や健康増進につなげることを目的に「介護支援ボランティア制度」を実施しています。介護支援ボランティア活動の実績に応じてポイントが得られ、申請によりポイントに応じた交付金が

交付される制度です。

(3) 愛知県豊明市

有機循環推進事業について

生ごみを新たな有機資源と位置付け、焼却処分ではなく堆肥に変えもう一度大地に還し、新たに生まれる自然の恵みの恩恵を受け、豊かで安心・安全な市民生活を送ることができる循環型社会の構築に向け、有機資源の有効利用と可燃ごみの減量を目的とした生ごみの堆肥化事業を行っています。

3. 視察のまとめ

総合支援体制のあり方は、それぞれの自治体の取り組みを参考にしながら、本市独自のあり方を検討していく必要があります。介護支援ボランティア制度については、検討課題はあるが取り組むべき課題です。循環型社会の構築は重要であるが、本市が行っているごみ減量を市民に啓発し、市民一人ひとりが意識を持っていただく取り組みが必要です。

## 経済建設委員会報告

●委員長 村上 恵一 ●副委員長 井上 光浩  
●委員 大塚 則男・犬童 利夫・西 信八郎・森口 勝之

### 国の緊急経済対策で 1 億 8 千万円超の追加補正

国の平成 24 年度補正予算（緊急経済対策）に伴う公共事業の追加により、土木費に 1 億 8,858 万 6 千円の追加補正を行いました。この事業はすべて平成 25 年度に繰り越して実施されます。

#### 《主な事業》

- 道路路面性状調査や道路防災点検など
- 青井西間線はじめ 6 路線の道路維持補修工事
- 前田団地の外壁改修工事
- 石野公園施設改築測量設計委託と村山公園施設改築工事で遊具やトイレの改修

### 25 年度においても緊急雇用創出事業を継続

平成 24 年度が最終年度の予定であった緊急雇用創出事業でしたが、平成 25 年度も継続して実施されることになり、人吉産きのこのブランド化推進事業など 6 事業で 24 名の雇用を図ります。

### 住宅リフォーム促進事業の運用が変わります

昨年度は 1,000 万円の予算額に対し 57 件の申請があり、工事費の総額が約 5,900 万円に上り、予算額の

約 6 倍の経済効果がありました。また、9 月には申請額が予算額に達するなど、反響が大きかった住宅リフォーム促進事業ですが、本年度から運用について 2 点変更があります。

- ①補助金の 1/2 を現金、1/2 を商品券として交付されます。きじ馬スタンプ協同組合が発行する商品券で、加盟店のうち 74 店舗で使用できます。
- ②リフォームに木材を使用する場合は、地元産材の使用が要件に加えられています。

本年度も 1,000 万円の予算です。リフォームの際はぜひ御活用ください。



## 経済建設委員会行政視察報告

### ① 赤穂観光アクションプログラムについて

研修先：兵庫県赤穂市

視察日：平成 24 年 10 月 17 日

研修内容：NHK 大河ドラマ「元祿繚乱」が放送され、平成 11 年度には約 272 万人を記録した観光客入込数ですが、その後は 150 万人から 160 万人で推移していました。そこで、新しい観光と地域づくりの観点から、新名所・新名産の開発や地産地消とブランド化、交通アクセスの利便性向上など実行性のある計画「赤穂観光アクションプログラム」が策定されました。今回は、行政・観光協会・商工会議所・民間団体との協働により、各観光スポットでの入込数の目標値達成に向けた様々な取り組みについて視察を行いました。

（まとめ）観光協会と行政との関わりや、観光周遊バス「くらちゃん号」の運営方法と補助金のあり方など非常に参考となるものでした。これをもとに本委員会委員が一般質問において、「じゅぐりっと号・さるく人吉」廃止後の今後について提言をしました。

### ② 西条農業革新都市プロジェクトについて

研修先：愛媛県西条市

視察日：平成 24 年 10 月 18 日

研修内容：日本経団連の「未来都市モデルプロジェクト」実証地域に選定され、地元農業者と企業が連携し、技術力・情報力・マーケティング力・資金力を結集させた農業の壮大な取り組みでした。中でも、住友化学(株)や、パナソニック、三菱重工などの出資による葉物野菜の一大産地化を目指す農業法人サンライズファームの設立や、総合 6 次産業化への取り組みは特筆するものでした。

（まとめ）熊本県知事は、県南振興を訴えられ「フードバレー構想」を全面に打ち出されています。熊本県の取り組みの基本方針である「幸せ実感くまもと 4 カ年戦略」の中にも明記されており、今回視察した案件は、具現化するための一つのモデルケースでもあると考えます。

## 市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 村上 恵一 ●副委員長 松岡 隼人  
●委員 高瀬 堅一・井上 光浩・笹山 欣悟・西 信八郎  
仲村 勝治・三倉美千子・永山 芳宏

第 3 回特別委員会（2月28日開催）では、前回の審議において「知る、調べる、考える」というプロセスで進めることが肝要であるとの見地から、今回は「調べる」という観点で、2点についての調査結果の説明を受けました。

1点目の「近年の特徴ある庁舎整備の事例について」は、市街地に新たに建設された建物の中のスペースを自治体が購入していくという「市街地再開発事業」、民間事業者が資金調達を行い、設計、建設、維持管理、運営までを行う「PFI方式」、民間業者が建てた建物をリースで借りるといった「リース方式」、市が起債や基金等を用いて建設する従来方式の「公共直営方式」、デパート等の撤退に伴い、市庁舎が移転する「移転改装型」や「窓口・オフィス改装型」について、全国18の自治体の事例をもとに説明を受けました。

次に、2点目の「近隣自治体の庁舎整備の事例について」は、九州内14の事例のうち、12の自治体が合併特例債での建設ということで、特例債の発行期限も迫ってきており、現在建設中や今から建設予定というパターンが多く、また太陽光発電や屋上の緑化などエコや防災を意識した施設整備を同時に行う

傾向がありました。

最後に、市執行部内の市庁舎移転建設研究委員会の動向を聞いたうえで、本委員会の今後の審議について、委員から意見を求めました。建設時期と予算等もう少し現実的な検討をしていくべきなど、具体案の提示を求める意見が相次ぎました。

よって、本特別委員会としましては、場所選定を進めることが先決との委員会の総意として、6月議会までに建設地の場所選定を行うよう執行部に対して求めました。また、防災拠点施設・復興拠点施設であるべきであるという国からの指針が示されていることから、国の動向も併せて調査していくことにいたしました。



現在の市役所本館

## 治水・防災に関する特別委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 犬童 利夫  
●委員 宮崎 保・村口 隆・大塚 則男・平田 清吉  
豊永 貞夫・川野 精一・森口 勝之

### 御溝川・福川の浸水被害対策と早期の河川改修の必要性を再認識

第 3 回となります今回は、御溝川・福川の現地視察を行いました。

まず現地視察に先だって、福川水系の流域図、御溝川における浸水被害状況、御溝川計画流量配分、御溝川及び河川改修計画（長期構想）概念図の説明を受けました。

現地視察は、御溝川の取水口をはじめ一次放水路の取水口、計画されている二次放水路の取水口と排水口、それに放水路のルート確認など計11カ所の視察を行いました。御溝川と鷹木川合流点では、計画されています三次放水路の概要について説明を受けました。また、毎年のように浸水被害が起きている瓦屋町から城本町の浸水被害地区の確認と、御溝川の未改修地区の確認も行いました。福川につきまし

ても、中林町と下薩摩瀬町の浸水被害地区の確認と、未改修地区の確認を行っております。

浸水被害対策と早期の河川改修の必要性を再認識したところでございます。



御溝川の現地視察

# 一般質問に 13 名が登壇



## 人吉七町に

### 温泉郷の復活は



大塚 則男

**問** 温泉郷の復活の一つとして温泉センターの開発計画は現在どうなっているのか。

**答** 職員にて十数回に及ぶプロジェクト会議を開催し、さらに商工会議所、商店街、観光協会の皆様等との意見交換を行い温泉センター構想について検討した。施設規模や経営方式、利用状況及び採算性等、調査・研究を行い完成後の経営も試算したが、用地補償と建設費、更に管理運営において多大な投資が必要であり現状では財政負担は困難であると判断をした。また、意見交換の中で温泉の枯渇といった温泉資源の保護あるいは周辺温泉施設に与える影響等を考えた場合、町中への温泉センター構想は厳しく断念せざるを得ない。

## 認知症グループホーム

### の防火管理体制



犬童 利夫

**問** 認知症グループホームの防災設備と防火管理体制については。

**答** 3階建て以上の施設には防火戸は設置されている。また、全施設にスプリンクラー設備をはじめ、消火器、自動火災報知設備、消防機関に通報する火災通報装置、誘導灯は設置されている。防火管理体制については、防火管理者が定められ、消防計画の作成や計画に基づく消火、通報及び避難訓練は適正に実施されている。消防署の立入検査でも重大な問題はなかった。

今後の消防訓練のあり方について、地元消防団や地域住民の方々にも参加していただけるよう助言を行っていきたい。

※その他、市管理の橋梁の長寿命化修繕計画について質しました。

## 中心市街地活性化の

### 対策について



田中 哲

**問** 中心市街地活性化の対策は。

**答** 新年度予算の特徴は既存店舗の外壁整備への予算、ファサード予算を盛り込んだ。鉄道博物館建設については国の補正予算の活用も視野に入れ、市単独事業として行っていく。建設地は駅前市有地とし、観光施設としての活用も考え、運営は指定管理者制度を検討している。中小企業振興条例については地場産業を応援する意味で重要であり他の自治体を調査してみる。再開発問題は逼迫した財政の中で、事業困難という状況であるが、中心市街地は街の顔であり今後もあらゆる戦略や事業を検討して官民一体となって取り組んでいく。市庁舎移転については6月までに候補地を絞り込む。

市道側溝の整備と  
危機管理計画について



平田 清吉

**問** 市道側溝及び側溝蓋の破損修理を道路の舗装修繕工事と併行してできないか。

**答** 道路舗装修繕工事は、社会資本整備総合交付金事業により進めており、側溝整備は補助対象外で市の単独予算となることから、同時施工は厳しい。

**問** 総務部防災安全課に、消防署、警察署、自衛隊等において、危機管理を経験した人を危機管理専門員として委嘱する考えは。

**答** 防災アドバイザーとしての危機管理専門員の配置の必要性は感じているが、配置体制や予算面に厳しいところがあるため、現在のところ検討していない。あらゆる災害に対応できる高度で専門的な知識をもった職員の人材育成が重要である。

職員の人事管理  
について



仲村 勝治

**問** 人事評価には、能力評価と実績評価がある。人吉市は部長から一般職まですべて能力評価となっている。その理由は何か。

**答** 実績評価も平成19年度以降に導入することとしていたが、組織目標を設定する前提として、マニフェストと整合性がとれない総合計画や行政改革大綱など、上位計画、ビジョンが整備されていないと現場の混乱を招くと判断したので整備を待つて導入することとした。総合計画については平成24年度に、新行政改革大綱については平成25年度に施行するので、実績評価についても平成25年度から試行する。

※第3次定員管理計画の職員数削減について質問しました。

本市の子育て支援、  
教育について



松岡 隼人

**問** 発達障がい支援に関して、発達障害者支援センターを県南に設置するよう要望してほしい。

**答** 熊本県球磨地域振興局から、既に県に要望されており、本市も要望を行っていく。

**問** 人吉市次世代育成支援行動計画の取り組みを市民と行政が一体となって進めるために、協議会を設置するべきでは。

**答** 協議会をつくる方向で進める。人吉市花まる教室事業の目的と具体的な内容は。

**答** 小学校二年生を対象に応用力をつけるために、花まる学習会の教材教具を用いて、週に一回程度、学力充実支援員が教室を運営する。

※地域子育て支援センター事業、教育振興基本計画についても質問しました。

特定健診と  
ラフティングについて



三倉 美千子

**問** 特定健診の平成24年度の受診率の目標65%の根拠は。

**答** 各保険者の種別及び被保険者、被扶養者別の事情・対象者の構成等も考慮に入れ市町村国保は65%を目標値と設定している。

**問** 特定健診を今後何年続けるか。

**答** 平成25年度から29年度までの第2期の実施計画を策定している。実施率の目標は、60%以上となっている。

**問** ラフティング等の様子が見えるように樹木を切れないか。

**答** 国土交通省・熊本県・球磨村などの関係機関と協議や整備について、要望などを伝えていきたい。

※その他人吉インターにバス利用者用の駐車場設置を要望しました。

人吉梅園の消毒

について



宮崎 保

問 梅まつりのとき消毒のにおいがしたと聞いたが、撒布された種類は。撒布したのはいつか。においが残る期間は。

答 不快を感じられたお客様にはこの場を借りてお詫びしたい。種類は、石灰硫黄合剤で殺菌・殺虫効果がある。強アルカリ性で強い硫黄臭が発生するもので撒布したのは、1月30日と2月2日に動力噴霧器で撒布した。通常は2週間くらいであると思われるが、天候などにより変わることもある。

問 梅まつりに影響がないよう指導できないか。

答 撒布数週間後に開催されるので、配慮も当然必要であると考ええる。今後は十分配慮しながら適切な対応をしていきたい。

マダニウイルス感染

対策について



笹山 欣悟

問 マダニウイルス感染で、国内5例の死亡事例が出ているが、市の考え、対策はどう考えるか。

答 正式には「重症熱性血小板減少症候群」といい、症状は発熱、倦怠感、下痢、神経症状など引き起こし、有効な抗ウイルス薬はなく対処療法が治療の主体である。マダニに咬まれないよう注意する自衛手段が対策となる。

問 野生動物からヒトに感染する可能性が考えられる。対策、市民への周知の必要があると考えるがどうか。

答 春から秋にかけてマダニが活発に活動する季節であり、市民の皆様が野外に出る機会も多くなる。市の広報誌等を通じて注意喚起を行うとともに正しい知識の普及に努めたい。

人口減少対策について



村口 隆

問 過去5年間の高校及び専門学校卒業者のうち人吉球磨以外に就職進学した人数は。

答 過去5年間で4、680名が卒業し、その内、約3、900名が就職進学で転出している。

問 過去5年間の本市の社会増加(転入・転出)の人数は。

答 転入7、515人。転出8、382人。マイナス867人。

問 新卒者の長期雇用対策について本市の施策は。

答 1点目に企業誘致。2点目到人吉球磨雇用対策協議会において就職セミナー等を実施中。

問 人口減少対策の一つとしてサテライトオフィスがあるが本市において調査研究をなされたことがあるか。

答 調査・研究は行っていない。

電気自動車の充電

ネットワークについて



西 信八郎

問 充電施設の整備について、国や県の補助はあるのか。

答 電気自動車等の充電施設等については、熊本県がEV・PHVタウン推進アクションプランに基づき、低炭素社会実現に向けて電気自動車等の普及促進を図るため、充電施設の整備に取り組んでいる。国には、クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金がある。

問 充電ネットワークについて、今後の市の考えはどうか。

答 低炭素社会を目指すという観点から次世代モビリティの一つとして、状況を見据えながら、公用車や市の施設への導入についても、将来的には検討する。

※その他、認可保育園、学校関係者評価の取り組みについても質問しました。

いじめ対策、体罰問題  
について



豊永 貞夫

**問** 各小中学校へ「学校いじめ対策委員会」の設置、教育委員会内には「いじめ対策サポートチーム」が編成されたが、活動の内容は。

**答** 対策委員会は、学校と保護者や地域住民で組織し、広く情報を収集、いじめ事案に素早く対応する。サポートチームは、学校の要請を受けて情報の共有、関係機関との連携、ケース会議など行い、いじめ問題の解決に向けて支援する組織。

**問** 大阪市の体罰を苦に生徒が自殺した問題についての見解と、本市での体罰の状況は。

**答** 守り、育てる場である学校での体罰は大変悲しく、深刻に受け止めている。本市での体罰は無い状況。

乗り合いタクシー利用  
促進事業について



井上 光浩

**問** 平成24年10月1日導入からの利用実績と経費実績は。

**答** 高齢者や女性を中心に通院や買い物に利用し12月までの3ヵ月で平均1、223名が利用。予約経費として月平均4万1、965円、補助金として月平均119万7、738円支出した。

**問** 導入後推計でどれくらいの削減効果が見込めるのか。

**答** 昨年9月まで市が支出していた補助金は年間約6千万円で2割程度の削減が見込まれる。

**問** 地域住民の様々な要望に対応はできないのか。

**答** 地域の実情、利用者の要望に応じた取り組みと対策が必要。公共交通の維持確保を行政と地域全体で考え、抜本的な対策を立てていきたい。

平成25年3月定例会の議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果
議 第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度人吉市国民宿舎特別会計補正予算（第1号））	原案承認
議 第 2 号	平成24年度人吉市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議 第 3 号	平成24年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議 第 4 号	平成24年度人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議 第 5 号	平成24年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議 第 6 号	平成24年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議 第 7 号	平成24年度人吉市水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議 第 8 号	平成24年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議 第 9 号	平成24年度人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議 第 10 号	平成25年度人吉市一般会計予算	原案可決
議 第 11 号	平成25年度人吉球磨地域交通体系整備特別会計予算	原案可決
議 第 12 号	平成25年度人吉市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議 第 13 号	平成25年度人吉市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議 第 14 号	平成25年度人吉市介護保険特別会計予算	原案可決
議 第 15 号	平成25年度人吉市介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議 第 16 号	平成25年度人吉市水道事業特別会計予算	原案可決
議 第 17 号	平成25年度人吉市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議 第 18 号	平成25年度人吉市国民宿舎特別会計予算	原案可決
議 第 19 号	平成25年度人吉市工業用地造成事業特別会計予算	原案可決
議 第 20 号	人吉市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	原案可決

議 第 21 号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 22 号	人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 23 号	人吉市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 24 号	人吉市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 25 号	人吉市環境基本条例の制定について	原案可決
議 第 26 号	人吉市環境審議会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 27 号	人吉市消毒・撤布手数料条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議 第 28 号	人吉市中山間ふるさと・水と土保全基金条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議 第 29 号	人吉市人・農地プラン検討委員会設置条例の制定について	原案可決
議 第 30 号	人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 31 号	人吉市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議 第 32 号	人吉市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議 第 33 号	人吉市指定地域密着型介護老人福祉施設の入所定員並びに指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に係る申請者の資格を定める条例の制定について	原案可決
議 第 34 号	人吉市道路構造の技術的基準を定める条例の制定について	原案可決
議 第 35 号	人吉市道路標識の寸法を定める条例の制定について	原案可決
議 第 36 号	人吉市移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議 第 37 号	人吉市準用河川管理施設等の構造に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議 第 38 号	人吉市当住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 39 号	人吉市当住宅等の整備基準を定める条例の制定について	原案可決
議 第 40 号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について	原案可決
議第41～44号	損害の賠償について	原案可決
議 第 45 号	平成 2 4 年度人吉市一般会計補正予算（第 7 号）	原案可決
議 第 46 号	平成 2 4 年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議 第 47 号	平成 2 5 年度人吉市一般会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議 第 48 号	平成 2 5 年度人吉市水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議 第 49 号	人吉市職員の退職手当の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 50 号	工事請負契約の締結についての議決内容の一部変更について	原案可決
議 第 51 号	人吉市議会等に出頭した選挙人等に対する実費弁償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
諮第 1～2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推 薦
発議第 1 号	人吉市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
発議第 2 号	人吉市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

請 願 ・ 陳 情 等 の 議 決 結 果

付託委員会	件 名	議決結果
総務文教委員会	第一市民運動広場の整備及び設備の改修を求める陳情	不 採 択
厚 生 委 員 会	認可外保育施設に通う子ども達への助成を求める陳情	継続審査
経済建設委員会	市営住宅建設に関する陳情	撤 回
	市道中神地内第 8 号線道路拡張についての陳情	継続審査
	大畑校区において市営住宅に準ずる施策を求める陳情	採 択

# 平成24年度 議会報告会及び意見交換会を開催しました



議会報告を行う各常任委員会正副委員長

人吉市議会では、市民の皆様に対して開かれた議会をめざし、議会活動について積極的に情報提供をするとともに、わかりやすい議会運営を行うように努めています。こうした一環として、全議員18名が日頃の議会活動の状況を市民のみなさんにご報告するため、今回3回目となる「議会報告会及び意見交換会」を、1月24日木曜日、東西コミュニティセンターと東間コミュニティセンターの2会場で、2班に分かれて開催しました。両会場で23名の市民の方々が参加され、さまざまなご意見、ご要望をいただきました。

開催日：平成25年1月24日（木）  
開催場所：東間コミセン／東西コミセン

## 「会場でいただいた主なご意見やご要望」

Q：自治法の改正で政務調査費が政務活動費に変更された主な内容は。

A：使途項目の追加や使途の適切性を確保するため、議長に調査権が与えられた。

Q：人吉市のごみ排出量が多いが、その理由とごみの減量に対する考え方は。

A：生ごみの重量の7割が水分で、各家庭での水切りの徹底がポイント。市民一人ひとりが減量を意識することが重要であり、啓発も必要である。

Q：人・農地プランはどうなっているのか。

A：3月議会で「人吉市人・農地プラン検討委員会設置条例」を制定しました。

Q：納税のあり方を検討してほしい。

A：議会としても調査、研究したいと考えている。



【人吉市東西コミュニティセンター】



【人吉市東間コミュニティセンター】

Q：リフォーム事業は対外的に説明してあるのか。

A：広報ひとよし4月号に掲載しました。

Q：くま川鉄道車両更新や高校再編など、人吉球磨一体となって取り組んでほしい。

A：くま川鉄道車両については、人吉球磨広域行政組合にて更新

## 「要 望」

○耕作放棄地の排水の改良と農道を整備してほしい。

○避難訓練を市全体で取り組んでほしい。

○土・日曜にごみの搬入できないか。

（クリーンプラザへの日曜日搬入は可能）

○梢山や大畑に太陽光発電設置できないか。

○梢山に無償で企業を誘致することはできないか。

○総合スポーツ施設を作ってもらいたい。

○鳥獣害対策で、県境を越えて使用される共通の鑑札はできないか。

※ 要望に対しては、今後調査を進め検討していきたいと考えています。

## 編集後記

山々の木々が若葉に変わり過ぎしやすい季節となり、五月晴れのなか悠々と泳ぐ鯉のぼり、近年少子化の影響で見かけるのが少なくなりました。

3月定例会には、13名が一般質問に登壇し、議員目線での本市の街づくり、防火管理体制、危機管理計画、特定健診、教育関連等、市民生活に関わる問題を取り上げ執行部の考えを質しました。

今回号から、定例会前月の発行となり、編集委員も次号から変わります。多くの市民の皆様方に、関心を持って読んでいただける紙面づくりを目指します。今後も、市議会の様子を、議会だよりを通じてお届けさせていきたいと思いますので、議会に対して、温かいご理解とご支援をお願いいたします。

（文責：永山芳宏）

### 【議会報編集委員会】

委員長／永山芳宏

副委員長／森口勝之

委員／宮崎 保

大塚則男

豊永貞夫

高瀬堅一

犬童利夫

笹山欣悟

次の定例会は6月です。